

くれない



くれない会の皆様へ

学校法人武蔵野大学 理事長
くれない会名誉会長

長野 了法

昨年10月、理事長に就任した私は、
うかつにも四名の高等女学校生が空襲に
より犠牲となられた詳細を知りませんで
した。

私は本学と同じ浄土真宗本願寺派関
係学校である龍谷大学を卒業し、その後
同校の常務理事として定年を迎えるま
で、職員一筋に務めあげさせて頂きまし
た。ですから急遽の事情で理事長に就任
した私の学校法人武蔵野大学に関する知
識といえば、学祖の高楠順次郎博士と、
目ざましく発展を遂げた現在の本法人の
姿を知る程度でした。

就任後間もない時に、阿部美枝子く
れない会会長さまから、戦争証言集『あの
日をわすれないために』を頂戴しました。
一気呵成に拝読し、四人の生徒が被弾し
た想像を絶する悲惨な出来事を知りまし
た。また、生徒勤労動員として働いてい
た生徒たちの生々しい証言により、戦時
下で少女たちがどのような思いで生きて
いたかをうかがい知ることができました。
この散華乙女の歴史を知らずして理事長
職に就いたことに忤怩たる思いがしてお
りました。昨年12月3日に散華乙女追
悼会でお参りすることが叶いました。

煩惱を具足する私たちの自己中心性
は、放置すれば際限なく深まり、悩みや
苦しみ、果ては争いまで引き起こしま
す。今なお世界のどこかで続く戦禍は、
けっして他人ごとではありません。

仏教では、すべてのものは縁起によ
り成り立ち、「わがいのち」も生かされ
て生きていることを知り、自己中心性か
ら解き放たれ、利他の心が育つところに
安らぎの世界があると説いています。

学祖高楠順次郎先生は、「人格完成を
めざすことが教育の最終目的である」と
され、その実現には仏教教育が必要であ
ると強調されて本学院を創設されました。
ともすれば人間のいのちよりも技術文明
が優先されるような危うい今日社会にお
いて、仏教主義に基づく本学院の存在意
義が、正に問われていると言えましょう。

この度、『学校法人武蔵野大学第一次長
期計画—MU VISION 2030—』が理事
会で承認されました。その冒頭で本法人
の建学の精神・四弘誓願が分かり易く述
べられています。そして、それを礎とし
たブランドステートメント「世界の幸せを
カタチにする。」が宣言され、本学に課せ
られた使命を果たしていく決意が示され
ました。今こそ「武蔵野マインド」を持つ
た卒業生・同窓生の活躍が必要なのです。

法人規模が飛躍的に大きくなり、大
学に続いて中高も男女共学となって、
「くれない会」にも男性会員が誕生しま
す。しかし、どれだけ時代が変わって
も、申し上げるまでもなく、建学の精神
そのものは普遍性をもって女子学院時代
から現代へ、その先の未来へと受け継が
れていきます。

これからも「くれない会」が法人と共に常に本学院のあるべき姿を顕彰し、守り続けてくださることを願っています。会員皆様のご健勝とご活躍を衷心より念じます。

「100周年記念事業推進への

ご寄附に御礼申し上げます」

学校法人武蔵野大学は、令和6（2024）年に創立100周年を迎えます。本法人が今日まで発展の道を歩んでこられたのは、くれない会の皆様の同窓会活動へのご尽力を始め、学校運営への温かなご支援とご厚情の賜物に他なりません。改めて厚く御礼申し上げます。

さらに、このたび、くれない会様から創立100周年記念事業推進のために1千万円のご寄附を賜りました。重ねて厚く御礼申し上げます。

創立100周年記念事業として、本法人の歩みを振り返る百周年史や学祖高楠順次郎先生に関連する書籍等の発刊、在校生の修学を支援する奨学金の創設、卒業生向けのリカレントプログラムの開発など、検討を進めているところです。賜りました貴重なご厚志は、これらの事業に有効に活用させていただくことをお約束申し上げます。

建学の精神を継ぎ、武蔵野の歴史を築き上げてこられた同窓生の皆様から受け取ったバトンを、卒業生、在校生、教職員が一体となって、未来へつないでいきたいと思っています。

引き続き、本法人の活動にご理解いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



ご挨拶

中高等学校長 日野田 直彦

くれない会の皆様には、いつも大変お世話になっております。また、日ごろの教育活動へのご理解・ご支援をいただき、教職員一同、感謝を申し上げます次第です。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症にともなう緊急事態宣言などにより、大変な日々をお過ごしだったと思います。本校においては、昨年2月頃、中国で感染が広がりはじめていた時期から授業準備を進めていたため、4月～6月の緊急事態宣言下においてはオンライン教材を活用したオンライン授業期間として対応することができました。また冬に再び緊急事態宣言が発出された時には、リアルタイムの授業をオンラインで実施するなど、万全とは言えませんが、生徒・保護者の皆様と協力しつつ、またフィードバックを受けつつ、学びを進めることができました。武蔵野が大切にしてきた「心の教育」や「人に対する貢献」など、このような緊急事態にこそ、発揮されるものだと、改めて私たち自身も学びを深めたところでした。

具体的には、体育祭が実施できなかったのですが、高校3年生の有志が中心となって、「体育祭ができなくても、『荒城の月』だけは踊りたい」と校長室に直談判にきたことから話し合いを進め、ホールルームの時間などを活用し、荒城の月を踊り、それを映像に残し、共有するな

ど、厳しい年でしたが、その中でも挑戦することを忘れず、みんなで力を合わせて一つのものを創り出したことは大切な思い出になったことと思います。

また、昨年度に引き続き、経済産業省『未来の教室』事業において、全国で唯一のアントレプレナーシッププログラムを検証校として指定され、高校1年生が新しい取り組みにチャレンジしてきました。上級生においても、昨年のサマーワークショップや海外留学の経験などから、外部のプレゼン大会に出場し、全国大会まで勝ち残るなど、顕著な実績を残すこともできました。暗い年だったかもしれませんが、生徒の皆さんは、その中でも「何かできないか？」を模索し続け、新しい可能性を常に追求してくれておりました。

本校が大切にしてきた「心の教育」を大切にしつつ、新しい時代に向けて一歩ずつ成長しようとしております。設立者や卒業生の皆様の想いを大切にしながらも、21世紀に必要とされる人材の育成に向けて邁進していく所存です。教職員一同、皆様のご支援なしには教育活動を行うことはできません。今後とも成長する武蔵野大学中学校・高等学校を暖かく見守っていただければ幸いです。

皆様におかれましても、ご無理なさらぬよう、ご自愛下さい。

令和3年度 武蔵野大学「日曜講演会」 日程表

時間 ▶ 10:00 ~ 11:30

会場 ▶ 雪頂講堂（武蔵野キャンパス）

※敬称略

	月 日	所属・役職	講 師	講 題
第619回	令和3 4 / 18	武蔵野大学 名誉教授	田中 教 照	「世界の幸せをカタチにする。」
第620回	5 / 16	東洋大学 井上円了研究センター 客員研究員	佐藤 厚	「韓国仏教信者の祈祷と修行」
第621回	6 / 20	龍谷大学 社会学部 准教授	井上 見 淳	「『歎異抄』第5条を通して」— 先立つ人とのつきあい方—
第622回	7 / 4	大谷大学 教授 大谷大学仏教教育センター長	一 案 真	「人間にとっての救い」— 親鸞を通して考える—
第623回	9 / 19	名古屋大学 名誉教授	平川 宗信	「何を拠り所にいまの時代社会を生きるのか」(仮)
第624回	10 / 17	武蔵野大学 文学部 特任教授	寺島 恒世	「西行の和歌と仏教」
第625回	11 / 21	東京大学 大学院人文社会系研究科 准教授	高橋 晃一	「唯識思想における他者の存在」
第626回	12 / 26	京都女子大学 現代社会学部 准教授	藤井 隆道	「言葉をめぐるインドの思索」
第627回	令和4 1 / 9	武蔵野大学 教養教育部 准教授	碧海 寿広	「親鸞と近代」
第628回	2 / 13	武蔵野大学 学長	西本 照真	「かならず、かならず」のころ

問合せ先：仏教教育部事務局 TEL 042-468-9424

◎ご参加に際しては予約不要・聴講無料



ご報告

くれない会会長（高校16年生）
阿部 美枝子

くれない会会員の皆様にごあいさつ申し上げます。

昨年（令和2年）から新型コロナウイルス感染症は猛威を奮っており、いまだ終息がみられません。コロナ禍で私たちの生活は大きく変わり、不安定な日々を余儀なくされていますが、学院も授業はリモートになり、多くの行事が中止となりました。例年であれば園児、中学生、大学生で賑わっているはずのキャンパス内は人影もなく、ただ季節だけが少しずつ移り変わっていく状況です。

くれない会事務局も政府の緊急事態宣言を受けて、在宅ワークになっています。この様な状況下であります。今年度のくれない会報第42号を皆様にお届けできましたことは、この上ない喜びと存じます。

昨年の委員会、総会、近畿支部会はもとより、日帰りバス旅行、文化祭バザー、教養講座等の行事は中止となり、会報に載せるトピックスはありませんが、いただいた会員の皆様の「お便り」を中心に掲載しました。「お便り」をくださった方々に改めて感謝申し上げます。

会報の表紙は中学校・高等学校のキャンパス上空からの写真をご披露いたしました。お楽しみください。

令和2年10月より、理事長先生が田中

教照先生から長野了法先生に代わりました。くれない会は、長野理事長先生にくれない会名誉会長をお願い申し上げます。またこの度、長野先生には、くれない会報に就任のご挨拶をいただきました。

中高等学校長日野田先生には中高の現況をお願いいたしました。

くれない会は令和3年3月に卒業生188名を新会員にお迎えしました。（高校72回生・武蔵野大学高等学校94回生として）くれない会会員総数は2万4千307名となります。

それでは令和2年度のくれない会の報告をいたします。

一 書面審議について

前述の通り今年度はコロナ禍で、委員会、総会の開催が中止となりましたので、委員会の役員590名に書面審議による議案書を発送しました。

第一号議案 令和元年度決算報告

第二号議案 令和元年度くれない会基金決算報告

第三号議案 令和元年度会計監査報告

第四号議案 令和2年度予算（案）

第五号議案 学校法人武蔵野大学創立

百周年記念事業に伴う

寄付、寄付金額1千万円

一〇五号議案はすべて了承されました。

くれない会は令和3年2月22日にご寄付いたしました。

二 武蔵野大学への同窓会推薦入試実施

令和2年度、3名の生徒が日本文化学科、看護学科、幼児教育学科に合格しました。今年度同窓会推薦入試をご希望の方はくれない会にご連絡ください。電話又はメールでお願いします。

三 永代供養墓について

一昨年、学校法人武蔵野大学が、杉並区和田堀廟所の学祖高楠先生のお墓のすぐお隣に共同墓をつくりました。永代供養墓使用をご希望される方は、くれない会までご連絡ください。

四 維持会費納入について

くれない会は皆様の維持会費で運営されております。年一回一人1千円納入していただいております。

昨年の維持会費納入金額は、計176万5千200円（1月まで）となりました。ご協力ありがとうございました。

五 御寄付御礼

くれない会では、永代供養墓建立に伴う御寄付とくれない会運営への御寄付をお願いしております。おかげ様で、永代供養墓建立につきましては昨年67名の方々により28万6千円の御寄付を、また、くれない会運営には89名の方々により48万8千707円の御寄付をいただきました。永代供養墓の御寄付はくれない会基金へ、運営への御寄付はくれない会活動費へ入金いたします。

した。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

六 散華乙女追悼会（12月3日）行われる

今年度同窓生は20名の参加でした。例年のくれない会の写真展、生徒と同窓生との懇談会は中止となりました。西本大学長先生の講話で心が洗われる思いがいたしました。

七 高3卒業生188名にくれない会入会記念品贈呈

今年度は入会式は行わず、入会へのお手紙と御念珠入れをお贈りしました。

八 「百年史編纂だより」発行

学校法人武蔵野大学は2024年に創立百周年を迎えます。その記念事業の一環として2025年に学校法人武蔵野大学史を刊行します。百年史発刊のまえに同封の「百年史編纂だより」をどうぞお読みください。

長く続くコロナ禍、外出もままならずストレスを感じる厳しい日々となっておりますが、皆様くれぐれもお体を大切になさってください。

この会報が皆様のお手元に届く頃には桜は散っておりましようが、スマイル、れんぎょう、ツツジ……色々な花々が咲き乱れている候となりましよう。

一日も早いコロナの終息を願っております。

くれない会の行事で、また皆様にお目にかかる日を楽しみにしております。



先生お元気ですか？

退職からはや3年

元体育科教諭 庄司 治



現在のライフスタイルは猫とともに起き猫とともに寝るという生活です。謂わば猫中心です。初代「にゃっぴ」亡き後二代目の「まろんくりーむ」との生活です。

ただ家の中でじっとしているだけでなく毎日の散歩や自転車（電動）で近所をウロウロしています。その途中で卒業生に会う事もあり嬉しく思います。興味のある方はInstagramにその様子を載せておりますのでご覧ください。後は図書館で借りた推理小説を読んでいます。その当校内にいながら四季の移りを堪能できず、改めて非常に癒されていたことを痛切に思います。春は梅、桜、新緑、秋は銀杏、紅葉そして冬はグランドに積もった雪と今更ながら自然の豊かさを感じます。

現況は40年の教員生活を終え3年が経過し、幸いオフアワーを頂き都立高校のバドミントン部外部指導員（会計年度任用職員）を週4回、不定期ですが武蔵野にも行っております。また30年程になりますが微力ながら東京都高体連バドミントン専門部役員も続

「往事渺々」

おうじばうばう 往事茫々

元国語科教諭 小暮 正則



武蔵野女子学院には、国語科教諭として昭和51年四月から37年間務めさせていただきました。8年前に退職し、現在は多少の波風はあるものの、御陰様にて悠々自適？の生活を送っております。

学院での日々は、今思えば本当に楽しい記憶ばかりで、苦勞や嫌なこともあったのですがそれ等はすっかり忘れしました。では、楽しい記憶とはどのようなものと問われると、それも「往事渺々、往事茫々」何も浮かばないのです。何とも困ったものです。

それでも最初の出来事、採用に当たった学院長面接のことはよく憶えています。

当時の学院長は雲藤義道先生でした。先生は面接の場で私に「ありがたし」という言葉の意味を問われました。私が「有ることが難しい」ということで、『珍しい』とか『滅多にない』という意味です。」と答えると、先生は「武蔵野女子学院はその『ありがたし』を大切にしている学校なのです。」と言われました。

けており、まだまだ若い方と接し新しい出会いと刺激を頂いております。只今コロナ禍でこの文章を書いています。第二回の緊急事態宣言が延長されている最中です。部活動も休止なので今のところ開店休業状態になります。（皆様方がこの会報を読まれている頃は多少良くなっているとは思いますが）

生徒も昨年に引き続き部活動が休止になりほとんど学校行事もなくエナジーのもって行き場がなく切ない気持ちで一杯です。早く収束することを願うばかりです。クラブ活動が再開し大会が開催される事を願います。現在指導しているチームは関東大会出場を狙えるポジションにあり、久し振りに関東大会に出場出来る事が目下の願望であり楽しみでもあります。という訳で中々バドミントンとは縁を切れそうにありません。

最後にこの様に毎日生活できるのも武蔵野で出会った体調面を常に気遣ってくれる良き伴侶のお陰と感謝しております。これから益々の武蔵野大学中学・高等学校の発展を祈ります。皆様方におかれましてはくれぐれもご自愛ください。

まずの1。（山形県庄内地方の方言で「さよならまた会いましょう」という意味です）

その言葉の意味するところは、よくわかりませんでしたが、何故か心に残ったのです。

そこまでで記憶は払底。以下、近況報告。

朝は7時に起きて床を整え、午前中は新聞と家事。午後は本や雑誌を気の向くままに読み漁り、疲れたら散歩。夜はテレビやネットを楽しみ、11時には日記を書いて就寝。

以上が私の悠々自適？の日常です。このような生活ゆえ、コロナ禍でも（旅に出られぬことの他は）余り不満はありません。

ジョージ・ギッシングの本で「ヘンリー・ライクロフトの私記」（岩波文庫）というのがあります。学生の頃に読み、その主人公の、都会の喧騒や煩わしい人間関係から離れ、豊かな自然の中で散歩と読書の隠遁生活を送るという姿に、漠然と「出来ればこのような老後を送りたい」などと思っていました。

考えてみれば、図らずも半ば願いは叶っているではありませんか。有り難いことです。

思えば学院に縁をいただいた事も、多くの人に支えられ大過なく勤め終えられた事も、現在の穏やかな日常も、みな「有ることが難しい」中の「ありがたし」なのです。

どうぞ、皆さまも学院とのご縁を大切に。

武蔵野大学同窓会推薦入試について

- くない会会員の子、孫、兄弟姉妹、甥、姪の方が出願できます。
- くない会会長からの推薦書が必要です。
- 面接と出願書類の総合評価で選抜します。

対象学部・学科	学業成績などの基準
文学部、グローバル学部、法学部、経済学部、経営学部、アントレプレナーシップ学部、データサイエンス学部、人間科学部、教育学部、工学部	全体の評定平均値
薬学部	全体の評定平均値と英語・数学・理科の各評定平均値
看護学部	全体の評定平均値と英語・数学・理科のいずれかひとつの評定平均値

※ 同窓会推薦入試についてのお問合せはくない会 9月22日（水）までにご連絡ください。
※ 対象学部および基準は2020年度のものであり、参考としてご覧ください。

中学・高等学校受験者の優遇措置について

武蔵野女子学院中・高等学校を卒業された方々や、在学している生徒の四親等以内または本学幼稚園の卒園者本人、本学教職員の子女のうち、本中学・高等学校を第一志望と考えている方は必ず「入試広報部」までご連絡ください。受験の優遇措置について具体的にご説明させていただきます。また「入試広報部」では中学・高等学校の受験一般について、ご相談を承っております。どうぞお気軽にご来室ください。

入試に関するお問い合わせ
入試広報部 ☎ 042-468-3377

同窓生訪問



マルテンゼン美智子
(渡辺)
(高校14回生)
ドイツ語時間差同時通訳

ワールドニュースと私

NHKBS1のワールドニュース、ドイツのニュースの時間差同時通訳のお仕事を始めてからかれこれ31年になります。まさかこんなに長く続けるとは考えていませんでした。

衛星放送の試験放送が開始されたとき、たまたまNHK国際局に在籍していた私と呼ばれて、ドイツの番組を翻訳してほしいと言われ、お手伝いをしたのがそもその始まりでした。ワールドニュースのドイツニュースが6月初めから試験放送として始まり、私のニュース通訳の二日目がドイツのニュースメディアの伝える天安門事件でした。

ニュースは居間で見るものだと考えていた私が伝える側、こんな大きな事件を伝える側になるなんて、と感動を覚えました。

しばらくすると東ドイツの市民がハンガリーに押し寄せ、ハンガリーが西ドイツとの国境を開いたので、東の人々がどっと西ドイツに押し寄せました。私も家でテレビを見ていて、これは大変なことになったなと思うっていると、NHKニュースセンターから電話、「映像が次々と入ってくる、早く来てくれ」と切羽詰まった声。わっ！ 私とも関係あった！ こちらも興奮してタクシーで駆けつけました。

そのあとベルリンの壁が壊され、共産党政権が崩壊し、お手伝いのつもりの私が大忙しになりました。ドイツ語ができるのはドイツ人の夫のおかげです。

ワールドニュースにかかわってから31年になり、私はまだそこにいます。すべてに飽きっぽい私がこんなに長くやっていられるのは多分毎日違った出来事が起こっていて常に新鮮だからなのでしょう。

高校時代、音楽関係に行くか、社会科学関係に行くか、悩んだことがあります。部活は社会科学班で国際情勢に興味がありました。音楽を選び、音大を経て、ドイツへ行き、オペラの舞台にも立ち、コンサートで歌い、悔いはありませんが、今は音楽とは全く違う世界にいます。高校時代にやりたいと思っていた通りになったのだな、と今は思います。進路は一つではない、だから悩む必要はなく、今一番やりたいと思った道に進めばいいですね。あきらめたと思ったこともいつか実現するか……



山崎珠々恵
(倉本)
(高校27回生)
調停委員

調停委員になって知る 厳しい現実と人の心

武蔵野女子学院卒業後、商社に入社、夫の海外赴任に3度同行したあと定年を迎えた夫と共に裁判所の調停委員をめざし受験、平成25年から千葉の家庭裁判所で勤務しています。

3人の子どもたちを育てる間にも多くの方たちと知り合い、日本にいる間は英語教師として、海外駐在中は日本語ボランティアとしての活動を通して、それなりに世の中のことも分かっているような気がしていたのですが、いざ裁判所で仕事を始めてみると如何に自分の世界が狭かったのか、世の中の広さ、深さを感じる日々です。

昨年から世界中を震撼させている新型コロナウイルス感染症の影響で離婚を考える人も増えてきています。DVによつて心身ともに傷つき涙ながらに訴えてくる女性たち、また、心の病から恐怖や不安に襲われて社会生活から離れ困惑の中の人も多く訪れます。

最近では遺産分割が上手くいかず、

兄弟、親子を問わず、怒りを両手に抱えて調停室のドアを開ける人もいます。

また、日本で暮らす外国人の方々も年々調停を利用されることが増えてきました。以前は中国、韓国、フィリピンの女性が多かったのですが、最近ではガーナ、ナイジェリア、アルジェリア、スウェーデンなどの男性たちが日本人と結婚したものの、上手くいかずなど、色々な案件を担当しました。

SNSで出会い、遠く海外から来日して結婚というケースもあり、ほとんど日本語が話せず、仕事もうまくいかず、妻から離婚を迫られるなど、心痛むケースも多くあります。

先輩からは「傷つき迷う人たちが勇気を出してここに来るのだから、ちゃんと話を聞いてその心に寄り添うことが大切だよ」と教わりました。双方の主張を整理し解決に導くには、法律の知識も必要となります。裁判官が講師となり開催される勉強会は学生時代を思い起こさせます。

調停委員の定年は70歳となっておりますので、あと数年はご縁に感謝して、一人でも多くの方たちの小さな力になれるよう精進したいと思っています。



櫻井水絵
(大川)
(高校29回生)
歯科衛生士

●生涯現役を目指して

新型コロナウイルスに右往左往の一年。皆様いかがお過ごしでしょうか？医療従事者として身も心も疲労気味の私のお話に少々お付き合いくださいませ。

祖母が助産師、母が看護師だった私はいつも二人の颯爽と働く姿に憧れ、誇らしく感じていたものでした。二人とも70歳後半まで働いておりました。それはそれは元氣な二人でして……私の自慢です。

はてさてこんな私もあつという間に還暦を過ぎ、両親共に介護が必要なお年頃になってしまいました。月日の経つのは早いものです。

日本文学科在学中に吉祥寺のとある歯科医院でアルバイトをすることになり、医療に携われ、祖母たちに近づけた思いがしていました。アルバイトを続けるにつけ、もっと歯科のことが知りたいという知識欲が湧き出し、大学卒業後、専門学校へ入学し、晴れて歯科衛生士になったのでした。毎日が楽しく、がむしやらに働きました。そして通院できなくなった患者様はどうなるのかしら？

と思うようになり、ヘルパー2級、ケアマネージャーの資格も得ることとなりました。来られなければこちらから伺えばいいのよ、という訳です。

老人介護福祉施設のケアマネージャーとして働いていた頃、肺炎を発症し入院なさる方が多く、お亡くなりになる方も少なくありませんでした。今や高齢者の死因の第3位が誤嚥性肺炎になってしまいました。よくニュースの計報でも耳にしますよね。〇〇さんが都内の〇〇病院にて肺炎でお亡くなりになりました。た、というあれです。

肺炎は口腔内の常在菌が唾液と共に少しずつ肺に蓄積して発症します。口腔内を清潔にして口腔機能のリハビリを行うことで、発症しにくくできるのです。今、私は訪問歯科という形で、日々長野県で高齢者の方々と向き合っています。身体が動く限り、続けて参ります。祖母と母のように。

ステップアップ奨学金

武蔵野大学では創立80周年を記念し、建学の精神の顕揚と優れた人材の育成に資することを目的として創設した「ステップアップ奨学金」を、令和3年度も公募いたします。

その他、応募の詳細については、大学のホームページをご参照ください。

<https://www.musashino-u.ac.jp/>

近畿支部だより

支部長 高校16回生 藤尾 房江(浅見)

予定しておりました第55回支部会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。ワクチン接種で状況が落ちつくことを期待して、第55回の節目の支部会を是非開催したいと思っています。

詳細が決定次第ご連絡いたしますので、ご出席のご協力をよろしくお願い申し上げます。近畿支部の運営に長い間ご尽力いただきました松村美穂子様が令和2年7月3日、92歳でご逝去されました。心からの敬意と哀悼の誠を捧げます。

散華乙女追悼会

高校12回生 笠原 香(宮本)

12月3日の日は私にとって一年の最後の行事と思つて毎年参加させていたたいいます。昨年は新型コロナウイルス禍のため参加者の方が少なくなつても、何時ものように参加いたしました。私の同期の方々にも多く参加してもらいたいと思います。



追悼会あとの中高生との懇談会も無かつたのが、残念でした。



これからも高女の方々皆さん元気で参加していただきたいと思っています。私も新型コロナウイルス感染症に負けず今年も元気に参加したいです。

「董組 あつまれ」

高校29回生 鈴木 智子(志田原)

コロナに始まり、コロナに終わった2020年。毎年開催を目標にしていたクラス会も、みんなが集まることは叶いませんでした。

クラス会ができなくても、我が高3董組は、クラスのグループLINEを作つて近況などをトークや写真で報告し合っています。現在の参加者は23人。

クラス会の連絡だけでなく、亡き山崎先生の思い出、日々の出来事、趣味の話、お仕事の話……。各々気軽に投稿しています。投稿しなくても既読がつけば繋がっていることを実感し、LINEを通して董組の絆はますます強固！

今年は無理かもしれないけれど、来年はぜひクラス会を開催したい！LINEを始めた人は、ぜひご連絡を！



欠席者もLINEで雰囲気共有した
2019年 還暦クラス会

会員からのお便り

◆高女14回生 今野和子（平井出）

96歳になりました。旧学院の前をよく通ります。すっかり変わりましたね。

◆高女15回生 世利登志子（大橋）

訃報を見て同学年の方の顔をうかべております。幸い特別持病がないので毎日をのどかに過ごしております。毎日読経しています。

◆高女19回生 松尾由紀子（和田）

視覚障害者のための録音奉仕活動をしております。

◆高女21回生 高橋節子（宗像）

仙台の介護施設に入居していますが元気で過ごしております。

◆高校2回生 染野幸子

コロナの蔓延で外出を避け家にもった生活をしています。コロナのおかげでしょうか、以前より少し料理に手をかけるようになりました。

◆高校4回生 堀越富美枝（茂木）

85歳、年なりの衰えを感じております。昨年、同級生の加藤光子様、白石奈緒美様が亡くなりました。4月8日花祭り、小学校の教科書にスマレ、タンポポ、レンゲ草、花のお屋根が美しいとありました。桜が咲き、栗林の中には春の野草が花開いていました。コロナは戦争の次の災難です。

◆高校6回生 中村康枝（吉沢）

84歳になってしまいました……。10代の頃八王子から6年間通いました。70年経っても想い出は色あせません。

◆高校7回生 村田都奈江（上田）

私は脳梗塞2回目、病院通いです。

◆高校8回生 瀧木圭子（仲）

同窓会のご案内をいただきました。ありがとうございます。80歳を過ぎ乗物に乗って出掛けることは殆んどなくなりました。お集りの皆様によりしくお伝えくださいませ。

◆高校9回生 藤いう子（栗山）

昨春より住職と共に山寺に戻ってきました。雪景色の中、つぐみが飛び込んできました。残された日々、お世話になった方々に感謝の意を伝えていきます。昔、女子学院で育ていただき、本当にありがたうございました。諸先生、友人達、懐かしい方々、私の宝物となりました。

◆高校11回生 村上京子

夫婦ふたりで新生活を始めました。主人が脳溢血を病み、今まで7人家族でにぎやかだった生活にピリオドを打ち、病氣回復の為静かに暮らしていこうと決心しました。

◆高校12回生 高橋東子（村井）

84歳の主人と娘家族4人と同居を始め、6人分の食事作りに頑張っております。

◆高校15回生 徳山敬子（高山）

子育てと会社経営にと時が過ぎ、この歳になりやっと自分を生きています。

◆高校17回生 北川恵（西川）

卒婚しました。平成30年、令和元年、令和2年と3冊の健康本を出版し、学校の図書館に寄贈させていただきました。高校から武蔵野にご縁ができ、よかったと感謝しております。

◆高校17回生 小藤富美子（武内）

元気で暮らしております。

◆高校17回生 武田和子（平野）

高齢の母と同居する為転居いたしました。今春から姪の子どもが大学でお世話になることになり時の流れを感じます。

◆高校18回生 竹内栄子（小池）

毎週、孫たちが来て、一緒に書道を勉強しています。

◆高校19回生 大草みどり（八鍬）

子どもたちや孫の為手作りマスク作りました。ちよつと家での運動でがんばりましょう。

◆高校20回生 鈴木優子（外崎）

今年は古希、70歳になります。髪を染めることから卒業します。

◆高校20回生 岡崎朝子（名取）

いつも前を見て、今できることを精一杯、笑顔を絶やさず健康で天寿を全うできるよう歩んでいきたいと思います。

◆高校22回生 竹内裕子（中村）

同窓会誌くれない、毎年春になるとそろそろくる頃とたのしみにしています。高校時代お世話になった中村宗敏先生や桑原正見先生、歴史の大沢先生、よき師との出会いは宝です。共学になり男子生徒のいる武蔵野女子はびっくり。また学校がマサチューセッツ工科大学との連携にありびっくり。息子が大学生のときにマサチューセッツに縁がありました。先輩たちの頑張りを期待します。よい学生時代になりますように！

◆高校23回生 松木博子（山中）

昨年今年と続けて母と夫を送り、にぎやかだった家が、たつたひとり残された静けさのなか、何とかここから明るく前進しなくてはいけないとがき、生老病死の通らなくてはならない道の教えを光ある方向へ進行中です。

◆高校27回生 石川喜代子（石川）
一昨年40年ぶりに半年間毎週末土日に大学へ通い、保母の国家資格をとった。卒業生は学費半額とあったので横浜から通ったのだが該当せず残念。門の前で思わずお辞儀、守衛さんに挨拶。変わらないのは大学の校舎と池だけ！私は今、弓道錬士五段。英語の山口（小堀）先生も弓道されていて時々会えます。

◆高校29回生 丹羽美枝（高橋）

「高3紫組還暦クラス会」に参加しました。その時にライングループを作り、それ以来やりとりがあり、以前より身近になり絆を感じます。4月に主人の転勤で愛知県に引越しました。

◆高校30回生 野武眞美（片岡）

実家に行ったら会報が届いていました。懐かしさがこみあげ開封。結婚して35年過ぎ、夫の両親の介護と自分の両親の世話など仕事を辞めスーパー主婦している状態。元気で自分のことができての「人生100年」ですよね。

◆高校33回生 木俣潤（薬師神）

夫婦ふたりの生活になっている今、縁あって数十年ぶりに幼稚園預かり保育の教諭として働いています。幼子たちのパワーに負けないよう頑張っています。

◆高校33回生 梅原園子（渡部）

横浜の地に移り住んで早18年が過ぎ

ようとしております。アラ還世代となり、日々健康に気を配りながら過ごしております。

◆ 高校34回生 荒木加代子(田縁)

一人一人が立つ大変な時だからこそ、1・2・3運動を毎日しています。1時間の読書、20分の体操、3人への電話での励まし。皆さんと一緒に乗り越え、同窓会に参加できる日を楽しみにしています。

◆ 高校38回生 吉田陽子

平成6年に結婚し、平成7年に出産致しました。平成12年に離婚し、現在家事手伝いしております。

◆ 高校40回生 今村峰子(今村)

結婚し、二人の娘がいます。その娘がいよいよ受験を考えることとなりました。41号の「くれない」は高校3年の担任城田先生の御言葉が載せられておりましたので、頭が下がる思いでとてもうれしかったです。体育教師の菅野先生にもお世話になりました。

◆ 高校40回生 清水淳子(野口)

長男が武蔵野大学中学校に入学しました。

◆ 高校41回生 高本豊

卒業して今年で丁度30年。大きな臍脂色のリボン、赤いネクタイに三つ編み姿の写真をしながら、まるで昨日のこのように当時のことが思い出されます。かけがえのない6年間です。昨年亡くなった母に女子学院を選んでくれてありがとうと言いたかったです。

◆ 高校42回生 矢野知佳子(神山)

実家の仕事である会計事務に勤め始

めて早22年。家族と一緒に幸せな毎日を送っております。高校時代からの親しい友人とは「心はいつも学生のままだね」と言いつつ、それに見合わない身体のおい(老眼)を日々実感しております。

◆ 高校44回生 高坂真由子

卒業生の方々の現在の状況を拝読し、皆様いろんな人生を歩んでいるのだなあ、私も頑張らなければと元気づけられます。

◆ 高校47回生 木佐貫幸代(有吉)

会報で城田先生と若本先生がご退職されることを知りました。ご退職おめでとうございます。若本先生の5分で3行GSシステム(?)懐かしいです。中2と小6の息子二人の成長が楽しみです。

◆ 高校49回生 高野愛

卒業して20年以上経ちました。他大を経て、入社した旅行会社ですと働いています。

◆ 高校50回生 國吉由美(田中)

小4、小2の子育てで忙しくしています。小2の娘と昨年は樹華祭へ行きました。受験も考えています。

◆ 高校52回生 岩橋愛(高橋)

コロナの影響で主人はテレワーク、私は週1~2回程度の出勤をし、子供二人(小5・小1)は家で復習をしたりゲームをしたりして過ごしています。

◆ 高校53回生 鈴木麻里子(梶原)

結婚9年目でやっと女の子を出産しました。子育ては思っていた以上に大変ですが楽しんでいきます。新しいデザインの制服どれも素敵。

◆ 高校53回生 山田有紗(島田)

昨年結婚して田無で新しい生活をスタートしました。学生の頃の田無とは少し変わっていますが、どこか懐かしい感じがしています。

◆ 高校55回生 北山有輝子

コロナで買い物、仕事が大変ですが、大好きな趣味が続けられているという幸せを凄く感じています。日頃の何気ない事が凄く凄く贅沢に感じています。

◆ 高校61回生 宮部真利菜

新型コロナウイルスの影響で打撃を受けている業界や、最前線で頑張っている医療従事者の方をテレビで見守ることしかできませんが、この機に自分にできることを見直していこうと思います。

◆ 高校61回生 佐久間奈央(多田)

毎年、文化祭で先生方にお会いするのが私の楽しみです。来年は7月末に産まれる息子を連れて遊びに行きたいと思っています。

◆ 高校63回生 高田優花

姉弟で作業療法士として医療に従事しております。今の職業に生きがいを感じており、毎日楽しく過ごしています。

◆ 高校64回生 河野智子

薬剤師として千葉県で働いています。

◆ 高校64回生 高橋連穂

院生の時、社会人になってからも仏教の言葉を人に説明することがあります。「どうして知っているの?」……6年間で自然と覚えたのです。今になって感謝しています。

その他たくさんのお便りをいただきました。ありがとうございました。

伝言板

高校18回生3年黄組の皆さまへ

高校18回生 井上美枝(中澤)

榎本恵子(藤田)

田崎泉(大和多)

見松淳子(田島)

2020年4月25日に開催を予定していたクラス会が残念ながら中止となりました。

コロナの終息を待って、再度開催のお知らせを皆様へ差し上げたいと幹事一同考えております。その時は、是非ご参加をいただければと存じます。

生涯学習講座

本学の建学精神である仏教と、仏教の影響を受けた能・狂言に関する講座のほか、文学、政治経済、心理、教育、環境、医薬学など、本学の特色を活かした魅力ある講座を開講しております。なお、武蔵野大学地域交流推進室では、新型コロナウイルス感染症の収束の見込みが立て難い現状を鑑み、ご自宅に居ながら受講可能なWebによる講座を開講しております。

◆入会金無料 ◆卒業生は受講料が2割引になります。くれない会の会員番号をお知らせください。

Web配信講座 1講座(90分) 2,000円

- ・春の物狂能「桜川」と「隅田川」を読み味わう 講師:羽田 昶
- ・親鸞聖人の教え「一念多念文意」に学ぶ 第三期 講師:本多 静芳
- ・「日本仏教」を支えた祖師・先師たち 講師:永村 眞

「生涯学習講座のご案内」をお送りいたします。お気軽にお問い合わせください。

武蔵野大学企画部地域交流推進室

〒202-8585 東京都西東京市新町 1-1-20

http://ls.musashino-u.ac.jp

TEL: 042-468-3222 FAX: 042-468-3211

平日 9:30 ~ 18:00・土曜 9:30 ~ 15:30 (祝日を除く)



委員会・総会のお知らせ

委員会

対象

各学年委員

日時

令和3年5月15日(土) 13時30分～14時30分

場所

7号館5階会議室(A)

議題

活動報告・活動予定 決算報告・予算 その他

※ご出席の有無は準備の都合上、電話・FAX・メールにてお知らせください。
従来の往復はがきはありません。

総会

日時

令和3年6月5日(土) 13時30分～14時30分

場所

7号館5階会議室(A)

議題

活動報告・活動予定 決算報告・予算 その他

※ご出席の有無は準備の都合上、電話・FAX・メールにてお知らせください。

※新型コロナウイルス感染症により中止となることもございます。ご了承ください。
詳しくは、くれない会ホームページでご確認ください。

訃報

(敬称略・回生順)

謹んで哀悼の意を表します。

元数学科教諭 黒田初恵(金内)

高校2回生 令和2年7月3日

高女7回生 小池 まさ(橋本)

平成30年11月20日

高女10回生 小林多喜子

令和2年5月2日

高女13回生 岩国三和子

平成29年9月2日

高女13回生 志賀 上江

平成29年

高女13回生 志村ミドリ(神田)

令和元年6月10日

高女13回生 藤原 俊子

令和2年2月25日

高女17回生 前田 妙(横須賀)

令和2年2月16日

高女17回生 志田 妙子

令和2年7月23日

高女18回生 小川サハ子(小川)

令和元年5月29日

高女18回生 中島八重子(田中)

令和元年10月15日

高女18回生 伊佐次日出子

令和2年4月11日

高女18回生 松村美穂子(瀬戸)

令和2年7月2日

高女18回生 小原 巻子(山田)

令和2年11月20日

高女20回生 加藤 淑子

令和元年6月11日

高女21回生 角岡 暁子(角岡)

令和2年3月30日

高女22回生 関田 裕子

平成30年4月23日

高女22回生 田中 成子(金子)

高女22回生 中谷 昭子

高校3回生 早川 慶子(春日)

令和元年11月

高校5回生 窪田富士子

令和2年5月11日

高校5回生 今野 幸子(北田)

令和2年7月8日

高校7回生 伊藤 智子(岡田)

令和2年2月8日

高校7回生 岩下 京子(百瀬)

令和2年3月24日

高校7回生 田辺伊玖枝(佐藤)

高校8回生 山田 豊子(内野)

令和元年8月4日

高校9回生 小太刀彩子(今村)

令和2年10月

高校9回生 後藤 治子

令和3年1月19日

高校9回生 江本 巴子(宇山)

令和3年2月5日

高校9回生 島田 俊子

高校12回生 山崎 笑子

令和元年12月19日

高校12回生 成田 桂子(本木)

令和2年9月24日

高校13回生 福田 淳子(佐藤)

平成29年4月20日

高校13回生 原田与利子(野口)

令和元年7月4日

高校13回生 高橋 正子(安達)

令和元年8月13日

高校15回生 鈴木かよ子

平成29年

高校16回生 竹島美知子(高橋)

平成31年4月27日

高校16回生 飯野千枝子(諏訪)

令和3年2月28日

高校22回生 野田 吉子(高麗)

平成30年10月22日

高校24回生 帆荷加代子(倉光)

令和2年10月25日

高校31回生 清水 結花

高校35回生 青木 章江(青木)

平成31年1月19日

高校36回生 国持佐知子

令和元年6月23日

高校37回生 扇 紀子

平成30年10月

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

収入の部

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
前年度繰越金	1,696,986	1,696,986	0	
入金金	2,700,000	2,700,000	0	15,000円×70回生180名
維持会費	2,000,000	1,688,000	▲312,000	1,000円×1,688名
払込手数料	200,000	160,000	▲40,000	100円×1,600名
寄付 (くれない会)	0	321,300	321,300	くれない会運営のためのご寄付
寄付 (建墓)	0	821,000	821,000	永代供養墓建立に伴うご寄付
本・送料	0	46,300	46,300	「あの日をわすれないために」・記念誌
雑収入	0	4,100	4,100	タックシール作成代
銀行利息	50	20	▲30	普通預金利息
合 計	6,597,036	7,437,706	840,670	

支出の部

項目	予算額	決算額	差引額	備 考
基金積立	300,000	300,000	0	
基金積立（建墓）	0	821,000	▲821,000	永代供養墓建立に伴うご寄付
会報「くれない」	2,500,000	2,333,247	166,753	本誌印刷（16,000）・封筒・ 払込用紙印刷・封入・送料
新卒関係費	200,000	199,450	550	くれない会入会記念品（急珠袋）
総会費	80,000	60,000	20,000	懇親会費
近畿支部会費	180,000	184,160	▲4,160	近畿支部出張費・近畿支部運営補助費
散華乙女追悼会費	50,000	37,587	12,413	追悼会花代、追悼写真展関係費・ 往復はがき代
教養講座費	50,000	30,860	19,140	講師謝礼・交通費
人件費	1,200,000	1,091,500	108,500	本部
交通費	450,000	353,430	96,570	本部
払込手数料	320,000	289,113	30,887	ゆうちょ銀行・コンビニ他
会議費	100,000	75,432	24,568	委員会（往復はがき代）・ むらさき会合
通信費	80,000	73,886	6,114	電話・はがき・切手
渉外費	50,000	34,540	15,460	中元・歳暮
事務消耗品費	50,000	22,295	27,705	事務用品・タックシール・ コピー用紙
本送料	15,000	5,507	9,493	「あの日をわすれないために」送料
慶弔費	30,000	0	30,000	
雑費	20,000	9,886	10,114	お茶・紙コップ他
予備費	100,000	89,028	10,972	くれない会公印代、観戦賞会 支援金
小計	5,775,000	6,010,921	▲235,921	
時期繰越金	822,036	1,426,785		
合 計	6,597,036	7,437,706		

次期繰越金

(総収入) 7,437,706円－ (総支出) 6,010,921円＝1,426,785円

次期繰越金内訳

(三菱UFJ普通預金) 449,888円 + (ゆうちょ銀行) 955,231円 + (現金) 21,666円 = 1,426,785円

令和元年度 ぐれない会基金決算報告

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

収入の部

項 目	決算額
前年度繰越金	57,576,666
基金積立	300,000
基金積立（建費）	821,000
文化祭（バザー）収益金	119,157
受取利息	1,619
合計（繰越金）	58,818,442

次年度繰越金	58,818,442円
--------	-------------

令和3年度

活動予定

- 1 会報「くれない」第42号 4月25日付
- 2 委員会 5月15日(土)
- 3 総会 6月5日(土)
- 4 近畿支部会 未定
- 5 樹華祭(バザー) 不参加
- 6 日帰りバス旅行 中止
- 7 散華乙女追悼会 12月3日(金)
- 8 高校73回卒業生くれない会入会式 未定
- 9 くれない会教養講座 中止
- 10 むらさき会との会合 未定
- 11 母校行事に出席

中学・高校入学式、同慶節、雪頂忌、彼岸会、
 中学修了式、高校卒業式

報恩講

令和2年度 予算

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

収入の部

項 目	令和元年度決算額	予算額	備 考
前年度繰越金	1,696,986	1,426,785	
入会金	2,700,000	2,625,000	15,000円×71回生175名
維持会費	1,688,000	1,700,000	1,000円×1,700名
払込手数料	160,000	340,000	200円×1,700名
寄付（くれない会）	321,300	0	くれない会運営のためのご寄付
寄付（建基）	821,000	0	永代供養墓建立に伴うご寄付
本・送料	46,300	0	『あの日をわすれないために』
雑収入	4,100	0	タックシール作成代他
銀行利息	20	20	普通預金利息
合 計	7,437,706	6,091,805	

支出の部

項 目	令和元年度決算額	予算額	備 考
基金積立	300,000	300,000	
基金積立（建庫）	821,000	0	永代供養墓建立に伴うご寄付
会報「くれない」	2,333,247	2,600,000	本誌印刷（16,000）・封筒・払込用紙印刷・封入・送料
新卒関係費	199,450	220,000	くれない会入会記念品（念珠袋）
総会費	60,000	20,000	懇親会費
近畿支部会費	184,160	150,000	近畿支部会出張費・近畿支部運営補助費
散華乙女追悼会費	37,587	50,000	追悼会花代、追悼写真展開係費・往復はがき代
教養講座費	30,860	20,000	講師謝礼・講座補助費他
人件費	1,091,500	1,000,000	本部
交通費	353,430	350,000	本部
払込手数料	289,113	340,000	ゆうちょ銀行・コンビニ他
会議費	75,432	20,000	むらさき会合
通信費	73,886	80,000	電話・はがき・切手
渉外費	34,540	50,000	中元・歳暮
事務消耗品費	22,295	50,000	事務用品・タックシール・コピー用紙
本送料	5,507	10,000	『あの日をわすれないために』送料
慶弔費	0	30,000	
雑費	9,886	20,000	お茶・紙コップ他
予備費	89,028	100,000	
小計	6,010,921	5,410,000	
時期繰越金	1,426,785	681,805	
合 計	7,437,706	6,091,805	

會計監査報告書

令和2年 7月6日

武蔵野大学中学校・高等学校
同窓会くれない会
会長 阿部美枝子様

武蔵野大学中学校・高等学校
同窓会くれない会
会計監査 基橋 洋子
高田 悦子

下記の報告書を監査した結果、適正かつ正確であることを報告いたします。

雙

1. 令和元年度決算報告書、収支表、関係書類
2. 令和元年度くれない会基金決算報告書、関係書類

以上

令和2年度 活動報告

1	会報「くれない」第41号	4月25日付
2	委員会	11月 書面審議
3	総会	6月6日(土) 中止
4	近畿支部会	中止
5	樹華祭(バザー)	10月24日(土) 25日(日) 不参加
6	日帰りバス旅行	11月17日(火) 中止
7	散華乙女追悼会	12月3日(火)
8	高校72回卒業生くれない会入会式	2月 中止
9	くれない会教養講座	年2回開催 中止
10	むらさき会との会合	年1回開催 中止
11	母校行事に出席	
	報恩講	



くれない会 御寄付のお礼とご報告

平素よりくれない会にご理解とご協力をくださりまして、誠にありがとうございます。この度は、令和2年3月から令和3年1月までの間にくれない会活動と永代供養墓建立にご寄付をくださった方々のお名前を掲載いたします。心より厚くお礼申し上げます。

今後ともよろしくお願いいたします。

令和3年3月
くれない会会長 阿部 美枝子

くれない会活動の御寄付

令和2年3月～令和3年1月

合計 89件 488,707円

J14 今野和子	H11 関根洋子	H17 服部登美子	H33 波多野恵理子
J18 平栗アイ	H11 小嶋克江	H17 井田百合子	H35 青木輝美
J18 梅田延子	H12 徳永順子	H18 竹内栄子	H35 中村幸子
J18 松村美穂子	H12 金子百合子	H18 有馬眞紀子	H35 藤縄恵子
J18 水野久美子	H12 寺西慶子	H18 佐久間千枝子	H35 牛島葉子
J21 萩野祥子	H12 高橋東子	H19 亀澤佳子	H38 藤原倫子
J22 田中成子ご遺族	H13 松野正子	H20 佐々木裕美子	H39 黒柳由美子
H3 金子孝子	H13 佐々木順子	H21 右田房子	H39 植木光子
H3 合田敏子	H14 泊綾子	H22 出野八千代	H41 岩本佳子
H3 島津好江	H14 小峯恭子	H22 野口亜由美	H44 高坂真由子
H4 高山智榮子	H15 林夕起子	H22 西田恵子	H46 田島夏岐
H5 小島久子	H15 大木八重子	H22 石橋三枝子	H49 黒田香織
H5 河野カツ子	H15 茂本とり子	H23 久木崎博子	H55 増田美和
H6 三橋早苗	H16 松井律子	H25 酒井直美	H56 伊賀川香央里
H6 佐藤幸子	H16 高橋豊子	H26 小林君衣	H56 椿有由
H6 比護君江	H16 梶田かほる	H26 道端園枝	H59 高木佑紀未
H6 鷹谷聡子	H16 熊岡裕子	H27 小峰真理子	H63 柴宮真優
H8 内田矩子	H16 藤尾房江	H28 成田令子	H65 高久裕加
H8 木藤富子	H16 中村裕子	H30 関根仁美	H68 仲田祐花
H8 油屋延子	H16 高橋洋子	H30 河野実穂	H71 居樹萌恵
H9 榎本宏子	H16 堀井和久美	H31 吉条恭子	匿名 3名
H11 青山悦子	H16 柿本博子	H31 跡部華子	

永代供養墓の御寄付

令和2年3月～令和3年1月

合計 67件 286,000円

J18 水野久美子	H11 大月愛子	H24 大沼みゆき	H39 鈴木和枝
J19 松尾由紀子	H11 小嶋克江	H26 小林君衣	H39 植木光子
J21 相田豊子	H12 徳永順子	H27 関裕子	H45 橋本恭子
J21 高橋節子	H15 徳山敬子	H27 植松万理子	H45 片岡亜希子
H3 島田和子	H16 高橋豊子	H28 成田令子	H46 田島夏岐
H4 堀越富美枝	H16 梶田かほる	H28 高橋千恵美	H57 羽鳥牧
H5 佐藤宥子	H16 神戸淑子	H30 今泉久美子	H59 高木佑紀未
H5 河野カツ子	H16 高橋洋子	H30 長島里代	H61 宮部真莉菜
H7 齊藤美代子	H17 岩崎睦子	H30 関根仁美	H66 小嶋裕子
H7 小野勝子	H17 池田由江	H30 斎藤えり子	H69 石川奈々美
H8 土屋亨子	H19 亀澤佳子	H31 南るみ子	H71 居樹萌恵
H8 濡木圭子	H21 釜坂美和子	H31 吉条恭子	H71 浅野実彩
H9 海老沢和子	H21 小林三枝	H33 波多野恵理子	匿名 4名
H9 笹井容子	H22 野口亜由美	H35 青木輝美	
H10 渡辺記代	H22 出野八千代	H35 生田裕子	
H10 畑沢初江	H23 久木崎博子	H35 藤縄恵子	
H10 井田陽子	H23 船木恵子	H39 黒柳由美子	

回生順 敬称略
J 高等女学校
H 高等学校



維持会費納入のお願い

平素はくれない会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

維持会費 1,000 円、払込手数料 200 円、合計 1,200 円の納入をお願いいたします。昨年は新型コロナウイルス感染症が拡大する中、多くの方々に納入いただきまして感謝申し上げます。引続き今年度も何卒よろしくお願いいたします。

	コンビニ	ゆうちょ銀行	ダイレクト(ネットバンキング)	くれない会来室
維持会費用	1,200 円 払込期限 12月25日	1,200 円 通 年	1,000 円 ゆうちょダイレクト、三菱 UFJダイレクトからの 振込料は無料 通年	1,000 円 通 年
ご寄付・本専用	使用できません	通 年	使用できません	通 年

- **ダイレクト** ・ ゆうちょダイレクト 口座記号番号 00150 65957 口座名 同窓会くれない会
メッセージ欄に会員番号と回生を入力してください
- ・ 三菱 UFJ ダイレクト 武蔵境支店 (464) 口座番号 (普) 0419266
口座名 武蔵野大学中学校・高等学校同窓会くれない会
名前の前に会員番号を入力してください

- **通 年** 2021 年 4 月～2022 年 3 月 31 日まで使用できます

永代供養墓のお申込みと建墓御寄付のお願い



永代供養墓

学祖高楠順次郎先生のお墓

■ 永代供養墓のお申込み

永代供養墓(杉並区和田堀廟所)の使用をご希望される方は別途申込みが必要です。くれない会までお問合せください。埋葬料は8万円。和田堀廟所の埋葬料が改定された場合は、その改定後の金額が埋葬料となります。

■ くれない会建墓の御寄付

ご支援ご協力をお願い申し上げます。

募集要項	目 的	学校法人武蔵野大学永代供養墓の建立
	募金目標	500 万円
	募集受付	2019 年 4 月より
	寄付金額	一口 2,000 円

お払込みは寄付・本専用の用紙をお使いください。

発売中

「あの日をわすれないために」

武蔵野女子学院生の戦争証言集
武蔵野女子学院同窓会くれない会 編
四六版 定価 1,500 円

購入方法

寄付・本専用の用紙に冊数、送料(2冊まで500円)をご記入の上払込んでください。くれない会室でも販売しております。

連絡先

武蔵野大学中学校・高等学校 同窓会くれない会

〒202-8585 西東京市新町1-1-20

開室：月・木 午後1時～4時

TEL・FAX：042-468-3161 E-mail：kurenai@musashino-u.ac.jp

同窓会くれない会 検索

ホームページは同窓会くれない会で検索 ぜひご覧ください!

個人情報取り扱いについて

くれない会におきましては、個人情報を会員以外にお知らせしていません。
また、お問合せ等は、相手先確認了承の上、対処しております。
責任者・幹事の方へ名簿を送付する場合は、厳重に対応しております。